

令和 6 年 9 月（9 月号）

松江市出雲玉作資料館

資料館だより

松江市出雲玉作資料館発行

〒699-0201 松江市玉湯町玉造 99-3

開館時間 9 時～17 時（入館は 16：30 まで）

休館日：月曜日・休日の翌日 TEL・FAX（0852）62-1040

■ 8 月 21 日（水）博物館実習生 2 名来館。



松江歴史館で博物館実習中の、島根大学学院生さんと、大田市で地域おこし協力隊をされている 2 人が、他館見学で歴史館副主任学芸員の大多和さんと来館されました。当館片岡館長の案内で 1 階と 2 階を熱心に見学されました。



■ 8 月 28 日（水）～9 月 1 日（日）



茨城大学修士論文作成のため学生さんが、史跡出雲玉作跡宮垣地区 71C II 号住居跡および、同 C 地区出土のメノウ製勾玉未製品の資料調査に来館されました。

■ 今月の一品 作品名：「間々田紐」（またたひも）の帯締め

製作者：初代 渡部 浅市 制作年代：昭和時代



「間々田紐」は栃木県の民芸品です。手組みの紐で、日本古来から武士の甲冑の緒などに使われていました。

大正中期に初代 渡部浅市が東京の組紐問屋で修行した後に実家がある栃木県の間々田に戻り、店を構えたのが始まりです。昭和 30 年頃に柳宗悦が訪れ、「真田紐」の真田と「間々田」の語呂が似通っているところから、「間々田紐」と命名されました。

とくに国産の正絹糸を使い、染め上げた草木染の作品は定評があり、使えば使うほど味

がでる風合いや機械のものとはちがう手組の柔らかさと上品さがあります。

また、帯締めは一度締めると緩まず、着崩れを起こさないのが特徴です。

この作品は「草木染平唐打」で、栗渋と藍で染め上げています。箱のレッテルは、今年 1 月に亡くなられた、芹沢銈介の弟子である染色工芸作家の柚木沙弥郎（ゆのきさみろう）が描いたものです。

■受付横に展示しています。

■9月のロビー展

無 料

出雲玉作資料館友の会主催

小村 勝 水彩画作品 展

9月3日（火）～9月29日（日）



公園より



さんぽみち



初秋の山里



山あいの郷

■【休館日のお知らせ】9/9月）9/17（火）9/24（火）

※9/16（月・祝）敬老の日・9/23（月・祝）は開館します。

■ 10月のロビー展は、渡部 良和 木工芸展です。